

## 理科室の整備、管理について

理科教員は、理科室を世話する宿命にある。  
異動したら、まず、どこに何があるか探検する。  
次第に自分が使いやすいように、次に異動してくる方がわかりやすいように整備する。

自分は、理科室整備、管理は得意ではないが、考えていることや経験をまとめてみた。（進化する3ステップ整備）

### 1 中学校学習指導要領解説理科編「理科室内の環境整備」 【基本】

**整理整頓**も観察、実験の一部である。理科室では、生徒の使い易い場所に薬品や機器を配置しそれを周知しておくことも必要である。また、生徒の怪我に備えて救急箱を用意したり、**防火対策**として消火器や水を入れたバケツを用意したりしておくことが望ましい。さらに、換気にも注意を払う必要がある。特に、アンモニアや硫化水素などの刺激臭をもつ気体や有毒な気体を発生させる実験では十分な**換気**をする必要がある。

#### ○着目点

- ①換気扇、流し
- ②台帳の記入
- ③領域や単元ごとに整備された消耗品（電流、化学、岩石、観察機器 等）
- ④分別の徹底（燃えるもの、リサイクル、廃液 等）
- ⑤初期消火できる準備（消化器、乾燥砂、水、ぬれ雑巾 等）
- ⑥救急セット（ばんそうこ、消毒液 等）
- ⑦基本操作ができるための掲示物（電流計操作、メスシリンダー操作 等）
- ⑧運搬・収納の工夫（コンテナ、トレイ 等）

### 2 機能的で使いやすい理科室環境づくり 【応用】

何がどこにあるかわからない理科室の解消

#### ○着目点

- ①必要ないものは捨てる（廃棄手続き＝事務と密に連絡をとる）
- ②置く場所の表示をしっかりと（ビニルテープに油性ペン）
- ③収納の工夫（規格のケース等）
- ④購入時に同じ規格のものを要求する
- ⑤故障したもの、必要なものをメモするホワイトボード
- ⑥常に、順位をつけた購入リストをつくっておく。

### 3 教育目標に対応した理科室環境づくり

【発展】

生徒の探究的で自主的な活動を行うことができる理科室

#### ○着目点

- ①生徒が器具を取りに行くことができる
- ②よく使うものとそうでないものの配置
- ③使い終わった器具の片付け方法の確立（特にガラス器具）
- ④ちょっとした工夫（隣り合う扉を同時に開き、同じ器具を同時に取り出せる配置など）

例 課題研究…単元末に生徒が課題を設定し、計画・実験・まとめ・発表を行う

計画書、報告書提出

年3～4回実施

生徒との信頼関係をつくって実施する

生徒に任す（必要なものを取り、返す）



若い!

※薬品等は先生が準備する

包丁までである

（生徒の計画書にあったもので、先生の管理下で使わせる）

教員生活を振り返り、継続的に取り組んできた学習は「課題研究」である。

課題研究が「生徒の立場で行いやすく、先生の立場で効率よく、かつ、生徒の自主性と理科への関心をはぐくめるように」と考えてきた。

理科室を見ると、授業時間の生徒の学びが見えてくる……。 （爺の言葉）